

公立大学法人熊本県立大学 第4期中期計画（R6-R11）の重点事項

本学は、「総合性への志向」、「地域性の重視」、「国際性の推進」を理念とし、「地域に生き、世界に伸びる」をモットーに掲げている。第4期中期計画においては、第3期に引き続き、社会と時代の要請に合わせ教育の質の向上を図るとともに、地域との幅広い協働の確立や地域の国際化に対応し、国際社会にも寄与する教育研究をさらに発展させる。

※[]は計画番号

（１）社会と時代の要請に合わせた教育の質の向上

社会や時代の要請に合わせ、教育内容・教育方法及び教育研究組織等の検証を行い、効果的な改善・見直しにつなげるほか、内部質保証の観点からの自己点検・評価及び改善等についても積極的に取り組む。

【教育】

具体的計画

- ・入学者受入方針（AP）に基づく多様な入学者選抜の周知・実施 [1]
 - ・大学院の受入れ推進のための取組及び収容定員の適正な管理 [3]
 - ・DX・半導体関連産業などの分野でも活躍する人材の育成に向けたデータサイエンス教育の着実な推進 [5]
 - ・教育DXの推進（データに基づく教育の質の向上に向けた取組） [7]
 - ・学修成果の可視化と評価、学位授与方針（DP）及び教育課程編成・実施の方針（CP）の検証・改善 [4]
 - ・総合性と専門性のバランスを考え、社会と時代の要請に合わせたカリキュラムや実施体制の検討（新しい時代を見据えた教養科目の内容の改善・充実、文学部、特に英語英米文学科のあり方、総合管理学部の専攻制導入（地域活性化人材育成事業～SPARC～含む）） [13]
- 【自己点検・評価】
- ・内部質保証の観点からの点検・評価及び改善、方針・体制の検証 [39]

（２）地域との幅広い協働を確立する教育研究の着実な推進

第3期に引き続き、令和2年7月豪雨からの復興・再生等の支援を含め、地域貢献を視野として地域に学ぶことを重視し、地域課題の解決に資する研究活動を行い、また、社会人・職業人に対する教育を推進する。

【教育】

具体的計画

- ・地域リーダーを養成する本学独自の教育プログラム「もやいすと育成プログラム」や、「地域連携型学生研究」等による地域の諸問題（大規模自然災害からの復興支援、起業・事業承継課題等）を題材とした実践的な教育の推進 [8]
- 【研究】
- ・JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の地域共創分野（本格型）における「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点による研究の推進 [14]
 - ・地域に生きる大学として独自性のある研究及び地域の課題解決に貢献する研究の推進 [14]
 - ・知財管理の体制整備等の研究支援 [16]
 - ・【地域貢献】
 - ・産学官連携 [18]
 - ・ニーズに応じた各種公開講座及び専門的職業能力開発支援プログラムの推進（リカレント教育） [20]

（３）地域の国際化に対応し、国際社会にも寄与する教育研究の推進

英語能力の向上を目指したTOEIC®IPテスト全員受験など、グローバルビジネスに対応できる英語能力の育成を目指すとともに、グローバルな視点を持ち、地域課題に柔軟に対応できる能力を養う「もやいすとグローバル育成プログラム」を着実に実施する。また、学生の海外留学や留学生の受入れを促進し、相互交流や異文化理解を図り、地域の国際化に対応し、国際社会にも寄与する教育研究を推進する。

具体的計画

【教育】

- ・グローバルビジネスに対応できる英語能力の育成（英語能力の向上を目指したTOEIC®IPテスト全員受験、必要に応じた英語教育の改善） [9・10]
- ・グローバルな視点を持ち、地域課題に柔軟に対応できる能力を養う「もやいすとグローバル育成プログラム」の着実な実施 [11]
- ・外国人留学生等の受入れ増加 [2]

【国際交流】

- ・海外協定校との派遣・受入れの相互交流をはじめとした学生の海外留学・研修の実施（学生の留学支援のための経済支援及び危機管理対策の実施含む） [21]
- ・外国人留学生等に対するきめ細かな支援 [22]
- ・海外大学等との間の研究者交流・共同研究等の推進 [23]